

安曇野市教育長 メッセージ

“たくましい安曇野の子ども”の育成を目指して

平成27年4月からスタートした新教育委員会制度のもと、市長と教育委員会が一層の相互理解を深める機会として「総合教育会議」が開かれ、その会議において教育に関する「大綱」が策定されました。

この中で、教育指針として安曇野市が目指す教育の姿を「北アルプスの裾野に広がる安曇野の豊かな自然に向き合い、幼児期から生涯にわたり、先人が培ってきた歴史と文化を学ぶとともに誇りを持ち、明日を切り拓くたくましい力と思いやりをもった、心豊かな国際的な市民を目指します」と明記しています。このことを実現するために専心努力する所存です。

さて、教育指針の内容をだれにでもわかりやすく、覚えやすい言葉で表して伝えたいと考え、このたび“たくましい安曇野の子ども”を掲げることにしました。さらに、「たくましさ」をイメージしやすくするために「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」を加えました。このフレーズは、安曇野が生んだ評論家・作家で教育者でもあった臼井吉見さんが、中学生に向けて行った講演会の中で語った言葉からいただいたものです。

本年度から、安曇野市コミュニティスクール（ACS=Azumino-city Community School）をスタートさせ、安曇野市の市内小・中学校はもとより、地域、保護者、行政など学校を取り巻くすべての方々とともに、地域とともにつくる学校、地域に根差した魅力ある学校をつくっていきたいと考えています。

この新たな取り組みの主人公は“子どもたち”です。すべての安曇野の子どもたちが「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」ことを通して、“たくましい安曇野の子ども”に育ってほしいと願って、取り組みを推進します。

教育委員会事務局の職員もベクトルをここに合わせ、“自分の仕事に自信と誇りを持ち、知恵を出し、ずくを出し、汗をかき、チームで取り組む”を合言葉に、これまで以上に様々な事業を展開してまいります。

ステッカーは、その決意を内外に表明するために作成したものです。

平成29年4月

安曇野市教育長 橋渡 勝也